



こんにちは  
岩本ゆみです

## 青島診療所の保険医療機関 への再指定を早急に

厚生労働省九州厚生局は2023年12月14日、2024年1月1日付けで5年間の松浦市立青島診療所に対して保険医療機関の指定の取消処分を行いました。また、2023年12月14日付けで、川上泰正保険医に対し保険医登録の取消処分を行いました。九州厚生局の報道資料によるとこの処分は、川上医師が実際に行っていない保険診療を行ったものとして診療報酬を不正に請求したこ



青島診療所

と等に対するものであるとの事です。保険医療機関の指定の取消処分を受けた青島診療所では、2024年1月1

日から医療保険証が使用できなくなるため、医療行為に対しての窓口負担がこれまでの1〜3割負担から10割負担(全額自己負担)と

なり、患者の方々には大きな負担をかけることとなりました。そこで松浦市は、松浦市国民健康保険と長崎県後期高齢者医療保険の被保険者である島民を対象に、2024年1月1日からもこれまで通りの自己負担額で済むような対策をとりました。松浦市国保保険の被保険者と長崎県後期高齢(2面につづく)

### ゆみの 議会傍聴記



12月定例会では12人の議員が一般質問をしました。

インフルエンザ予防接種補助成は保護者の強い要望で実現し、18歳迄は自己負担1000円で接種が受けられます。一般質問の中で、「インフル



エンザ予防接種を利用する人が少ないからその制度を止めて別の支援に変えては？」という質問が出ました。

しかし、これってどうなのでしょう。私は保護者の強い要望が実った子育て支援を使用する人

が少ないからその制度を別の支援に変えるのではなく、保護者が求めて来た今ある子育て支援を後退させずに、学校給食費無償や県立特別支援学校通学支援など、新しい支援制度を作る必要があると思います。現在のインフルエンザ予防接種補助成を継続しつつ、新しい支援制度を作るために財源を確保し、子育て支援が県下1番の市になるのではないのでしょうか。